



山田コンサルティンググループ株式会社

2016年3月期 第2四半期決算説明会

2015年10月28日(水)

山田コンサルティンググループ株式会社



1. 2016年3月期 第2四半期決算概要 3

●(1)山田コンサルティンググループ全体組織	_____	4
●(2)第2四半期決算のポイント	_____	5
●(3-1)第2四半期連結損益計算書概要	_____	6
●(3-2)連結業績推移	_____	7
●(4)セグメント別損益状況	_____	8
●(5-1)経営コンサルティング事業	_____	9
●(5-2)不動産コンサルティング事業	_____	10
●(5-3)資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	_____	11
●(5-4)投資・ファンド事業	_____	12
●(5-5)FP関連事業	_____	13
●(6)第2四半期連結貸借対照表概要	_____	14

2. 2016年3月期 通期業績予想 15

●(1)2016年3月期 通期連結業績予想	_____	16
●(2-1)セグメント別の事業戦略① 投資・ファンド事業、FP関連事業	_____	17
●(2-2)セグメント別の事業戦略② 経営コンサルティング事業	_____	18
●(2-3)セグメント別の事業戦略③ 不動産コンサルティング事業	_____	19
資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	_____	19
●(3)今後の事業成長イメージ	_____	20
●(4)リスク情報	_____	21

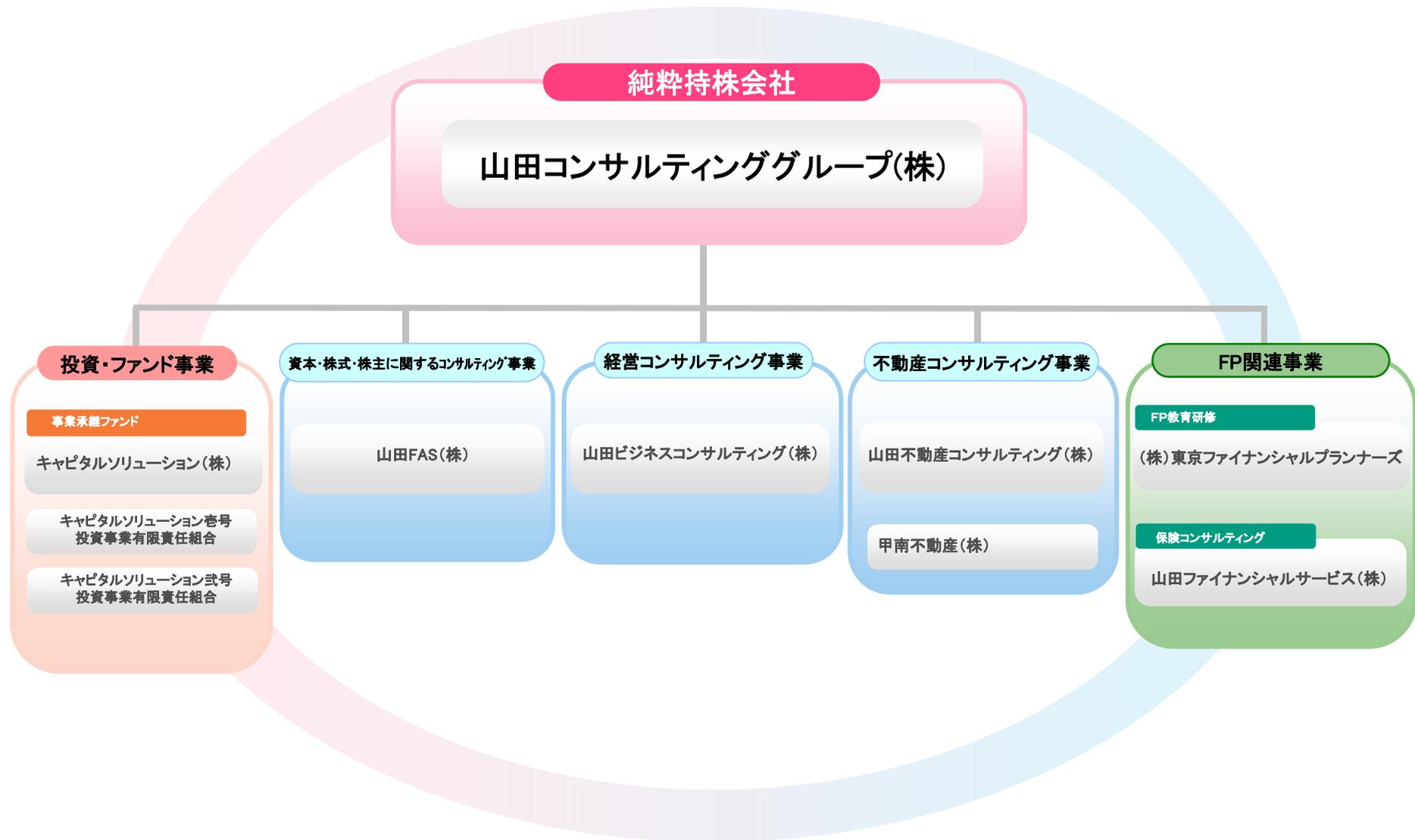


山田コンサルティンググループ株式会社

1. 2016年3月期 第2四半期決算概要



(1) 山田コンサルティンググループ全体組織





(2) 第2四半期決算のポイント

総括

前年同期のような大型M&A案件の売上計上がなく若干の減収、加えて業容拡大等による販管費増もあって営業利益は223百万円の減益
ただし、総じて案件の引き合い・受注状況は順調で、通期では業績予想数値の達成を見込む

経営コンサルティング事業

事業承継及び事業成長コンサルは順調も、大型M&A案件の売上計上がなく、業容拡大等に伴うコスト増もあって減益

不動産コンサルティング事業

当社グループ会社との連携による受注及び提携先からの顧客紹介による受注が順調で、若干の増収増益

資本・株式・株主に関するコンサルティング事業

大型M&A案件の売上計上がなく減収減益

投資・ファンド事業

投資株式の売却実現なし

FP関連事業

確定拠出年金(DC)関連研修の受注が順調で若干の増収増益

(3-1) 第2四半期連結損益計算書概要



山田コンサルティンググループ株式会社

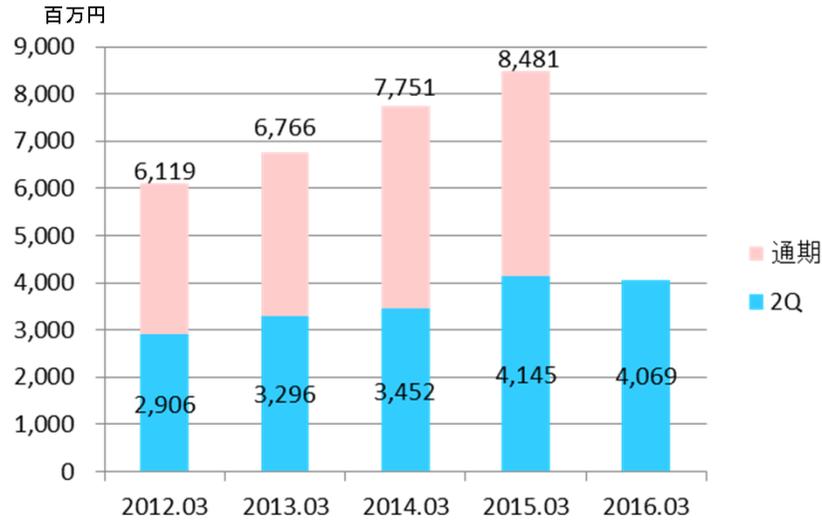
単位:百万円	2015年3月期 第2四半期累計 (売上高比 %)	2016年3月期 第2四半期累計 (売上高比 %)	前年同期比	
			金額	比率(%)
売上高	4,145 (100.0)	4,069 (100.0)	△76	98.1
売上原価	477 (11.5)	467 (11.5)	△10	97.9
売上総利益	3,668 (88.5)	3,601 (88.5)	△66	98.1
販管費	2,706 (65.3)	2,863 (70.4)	157	105.8
営業利益	961 (23.2)	737 (18.1)	△223	76.7
経常利益	1,044 (25.2)	699 (17.2)	△344	66.9
税引前四半期利益	1,044 (25.2)	695 (17.1)	△348	66.6
親会社株主に帰属 する四半期純利益	647 (15.6)	442 (10.9)	△205	68.2

(3-2) 連結業績推移

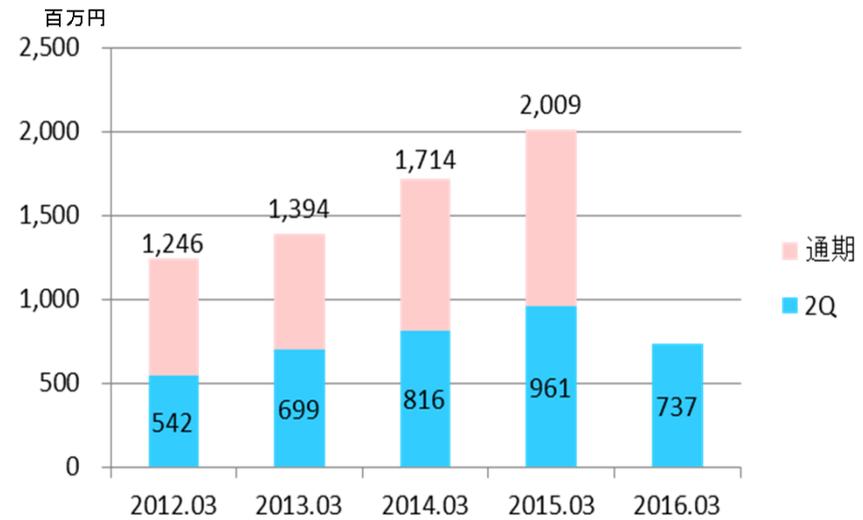


山田コンサルティンググループ株式会社

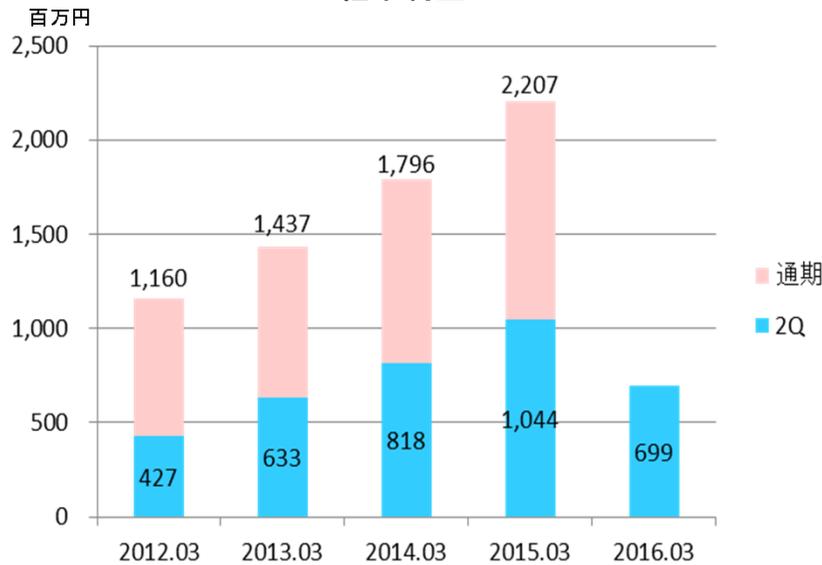
売上高



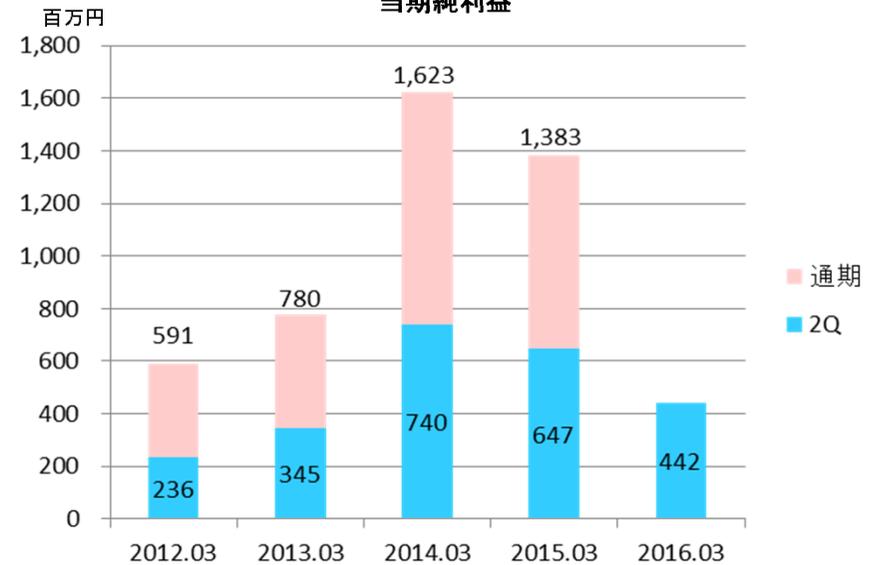
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する 当期純利益



(4) セグメント別損益状況



山田コンサルティンググループ株式会社

【売上高】

(単位:百万円)

	2015年3月期 第2四半期累計	2016年3月期 第2四半期累計	前年同期比(%)
経営コンサルティング事業	2,885	2,853	98.8
不動産コンサルティング事業	361	504	139.6
資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	554	403	72.8
投資・ファンド事業	40	—	—
FP関連事業	355	419	117.9
消去又は全社	△51	△111	—
合計	4,145	4,069	98.1

【営業利益】

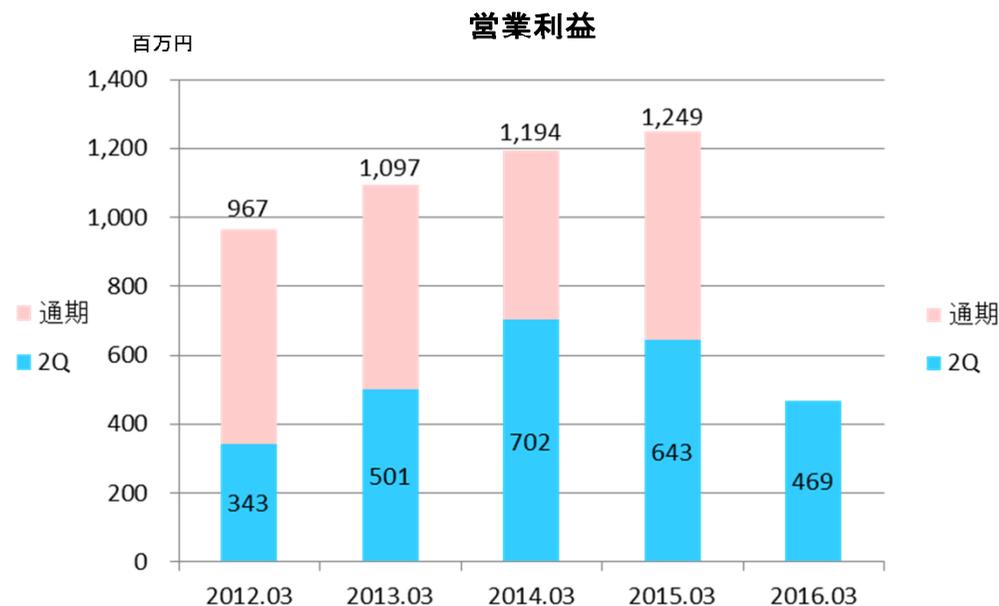
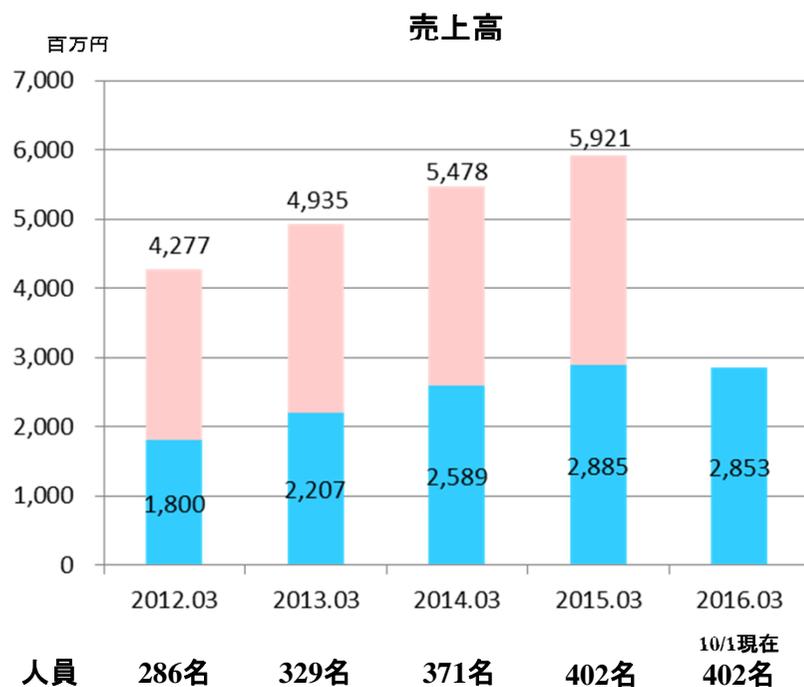
(単位:百万円)

	2015年3月期 第2四半期累計	2016年3月期 第2四半期累計	前年同期比(%)
経営コンサルティング事業	643	469	72.9
不動産コンサルティング事業	115	186	161.8
資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	152	17	11.2
投資・ファンド事業	△0	△2	—
FP関連事業	51	67	131.2
消去又は全社	0	0	—
合計	961	737	76.7

(5-1) 経営コンサルティング事業



山田コンサルティンググループ株式会社

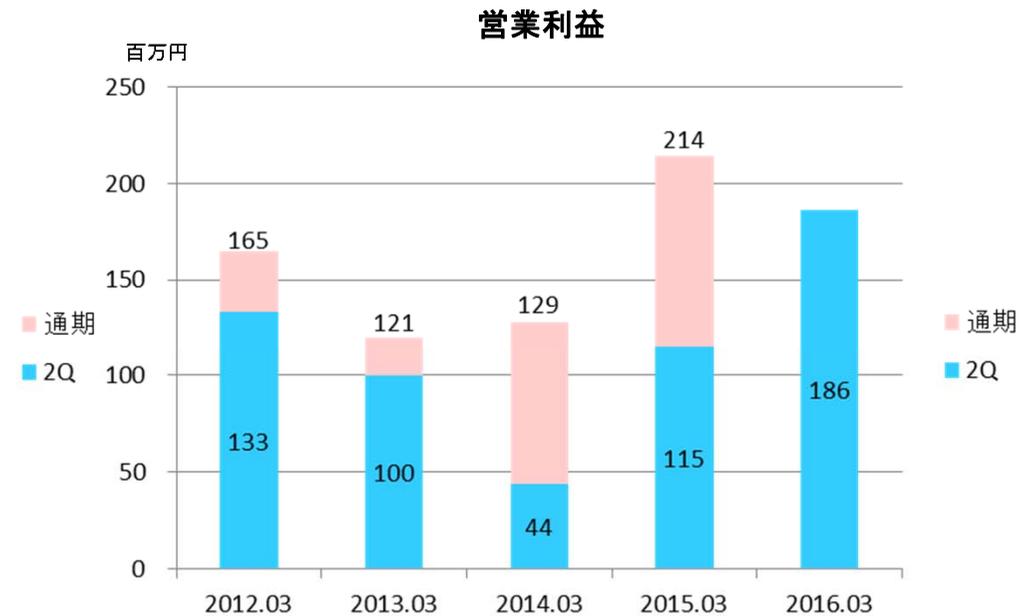
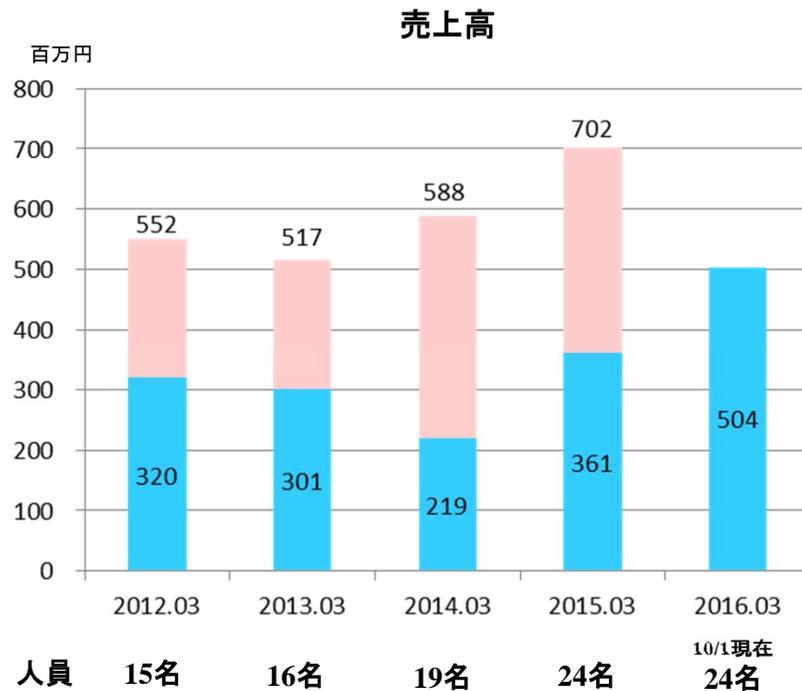


- 事業承継及び事業成長コンサルは順調も、M&Aコンサルは前年同期のような大型案件の売上計上がなく若干の減収、加えて、コンサル外注費の増加及び業容拡大等に伴うコスト増により174百万円の減益
- 上期は成約実現が遅れ気味だったことから、M&A関連売上高は451百万円(14件)
(前年同期のM&A関連売上高:603百万円、8件)
- 上期は減益も、事業承継及び事業成長コンサルの受注状況は順調、M&Aコンサルも成約確度の高い案件が順調に積み上がっており、通期は前期比増収増益を見込む

(5-2) 不動産コンサルティング事業



山田コンサルティンググループ株式会社

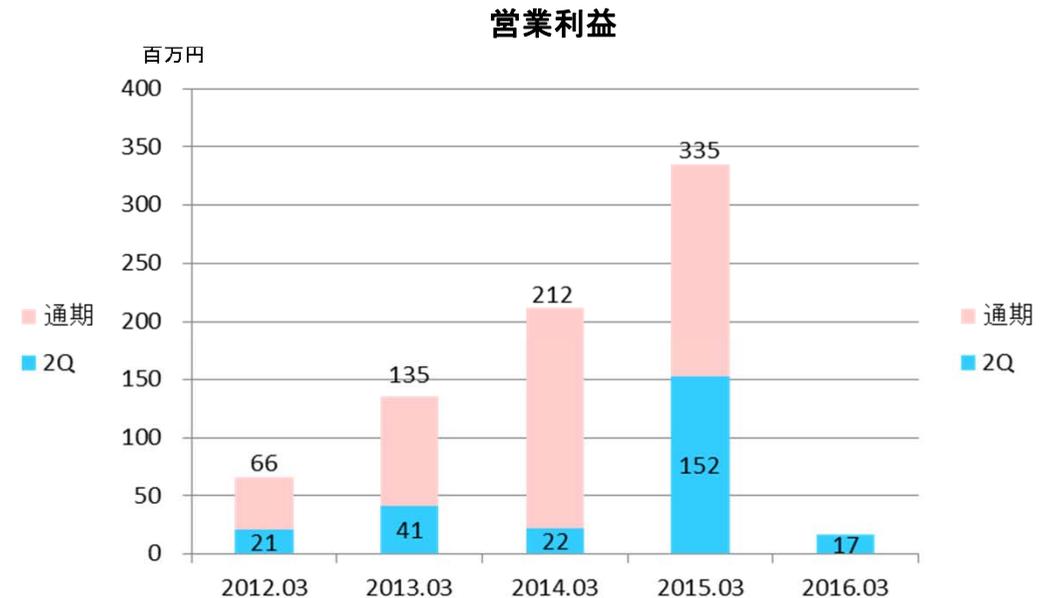
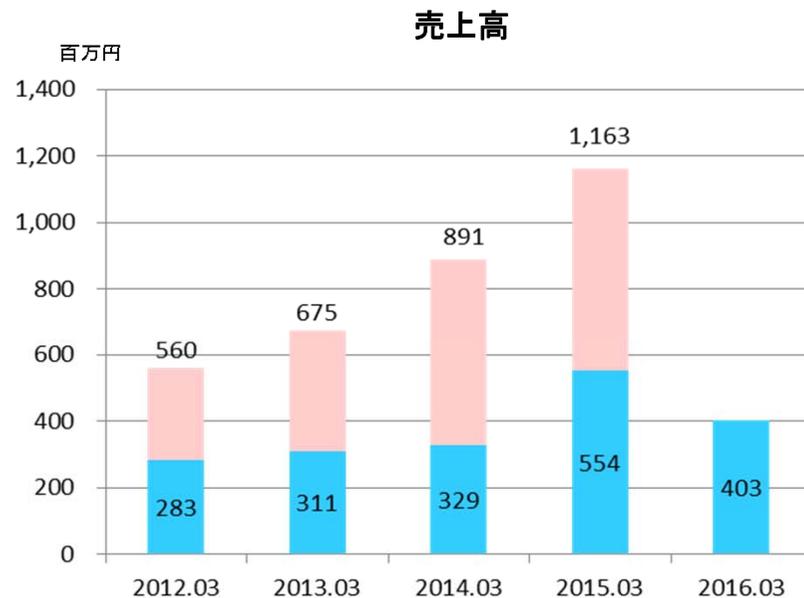


- 当社グループ会社との連携による案件受注が順調、かつ提携会計事務所からの紹介による案件受注も順調で若干の増収増益
- 会計事務所へのアプローチ
提携会計事務所との連携強化に注力、顧客紹介件数及び案件受注件数が増加傾向
2015年9月末現在の提携数は、309会計事務所(前期末は、275会計事務所)

(5-3) 資本・株式・株主に関するコンサルティング事業



山田コンサルティンググループ株式会社



人員 37名 35名 43名 51名 10/1現在 60名

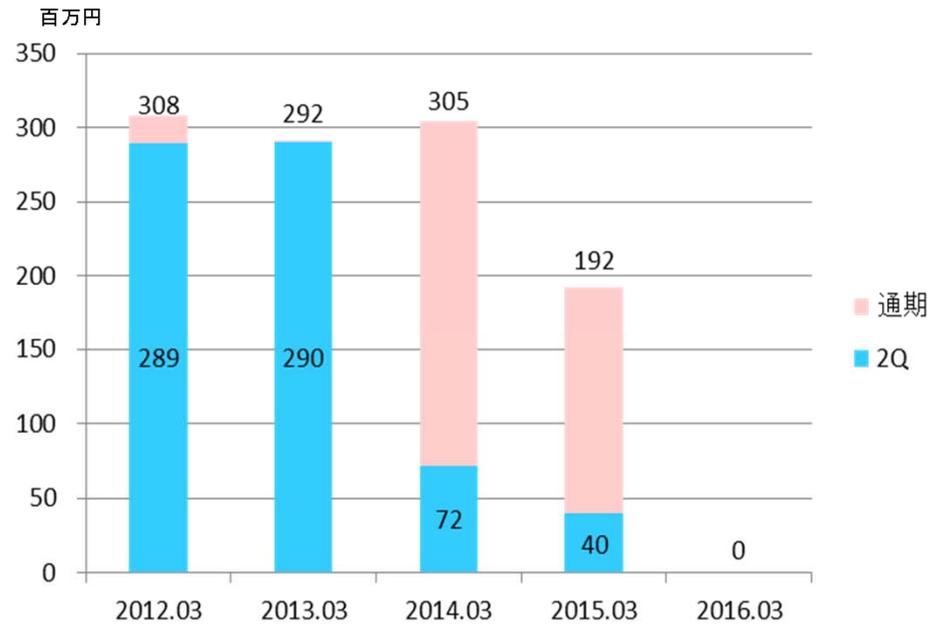
- M&A関連業務において前年同期のような大型案件の売上計上がなく減収減益
- 上期は大型の成約案件がなかったことから、M&A関連売上高は107百万円(4件)
(前年同期のM&A関連売上高:327百万円、5件)
- ファイナンシャルアドバイザー業務、バリュエーション業務の案件受注は引き続き順調、またM&A関連業務の相談件数も順調に積み上がっており、第3四半期以降に挽回見込み

(5-4) 投資・ファンド事業

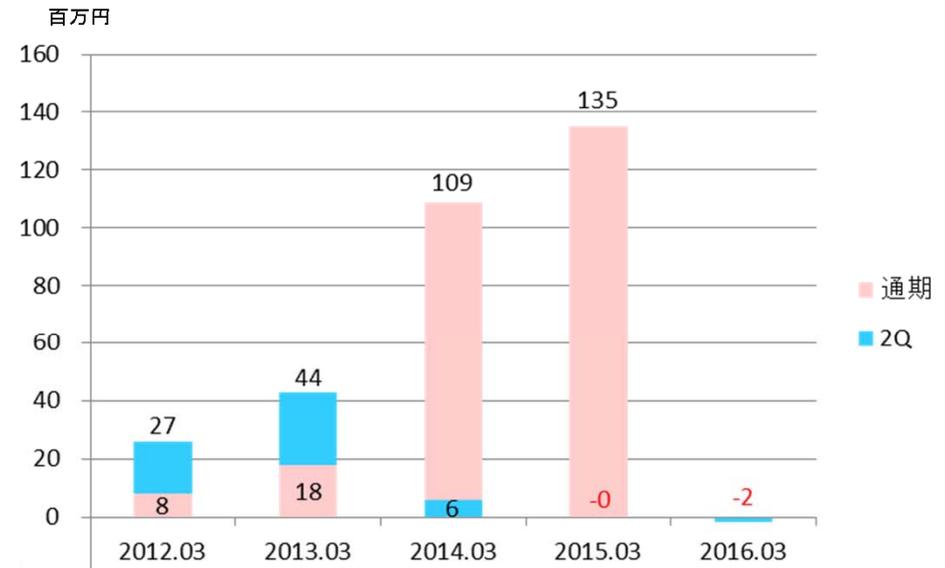


山田コンサルティンググループ株式会社

売上高



営業利益

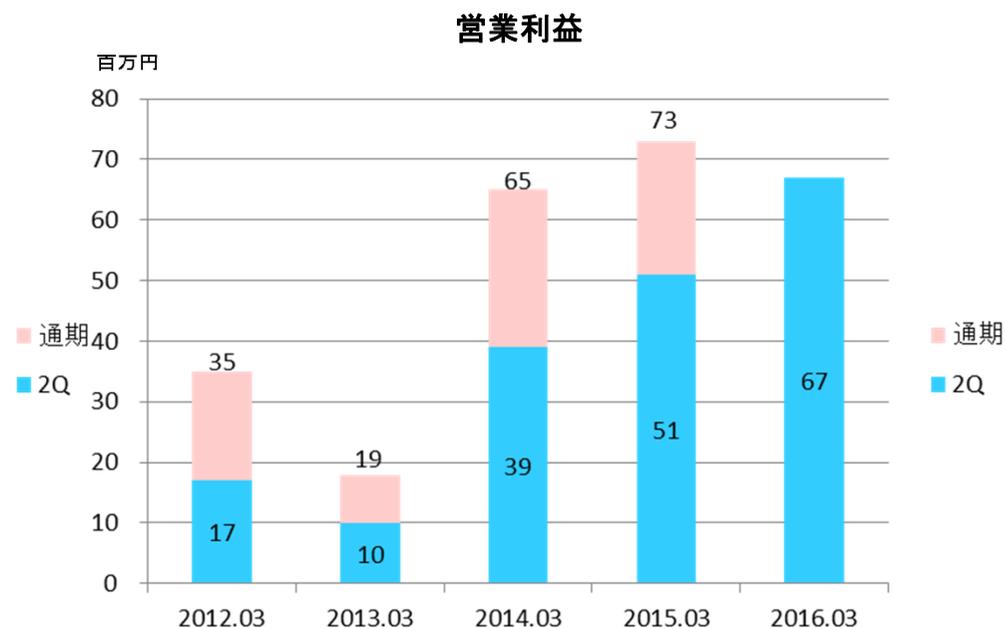
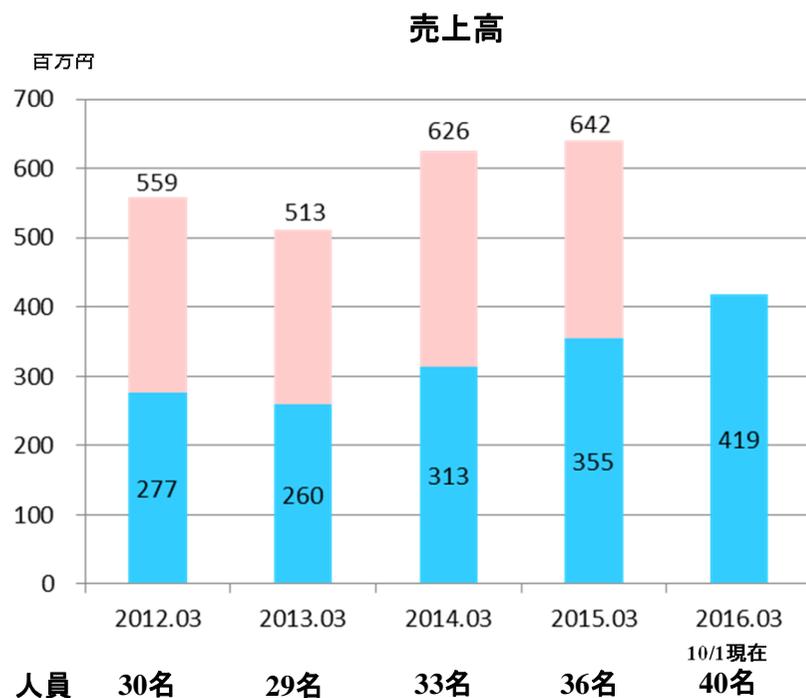


- 投資株式の売却実現なし
- キャピタルソリューション専号ファンドの投資残高7百万円
キャピタルソリューション専号ファンド(総額10億円)は新規の投資実行なし

(5-5) FP関連事業



山田コンサルティンググループ株式会社



- 金融機関と提携して行っている確定拠出年金(DC)導入企業に対するDC関連研修の受注が順調で若干の増収増益
- 相続手続に関するサポート業務(商品名「相続あんしんサポート」)は、引き続きサービス認知活動に注力

(6) 第2四半期連結貸借対照表概要



山田コンサルティンググループ株式会社

単位:百万円		2015年 3月期末	2016年 3月期 第2四半期末	増減額
資産 の 部	流動資産	6,337	5,769	△568
	固定資産	3,559	3,243	△316
	有形固定資産	205	231	26
	無形固定資産	19	16	△2
	投資その他資産	3,335	2,995	△339
	繰延資産	0	0	△0
資産合計		9,897	9,013	△884
負債 の 部	流動負債	1,704	740	△964
	固定負債	71	44	△26
	負債合計	1,775	784	△990
純 資 産 の 部	資本金	1,599	1,599	—
	資本剰余金及び利益剰余金	6,865	7,035	169
	自己株式	△371	△417	△45
	株主資本合計	8,093	8,217	124
	その他の包括利益累計額	19	3	△16
	新株予約権	4	2	△1
	非支配株主持分	4	4	△0
	純資産合計	8,122	8,228	105
負債純資産合計		9,897	9,013	△884



山田コンサルティンググループ株式会社

2. 2016年3月期 通期業績予想



(1) 2016年3月期 通期連結業績予想

(百万円、%)

	第2四半期累計 (実績) A	通 期	
		予想数値 B	進捗率 (A/B)
売 上 高	4,069	9,000	45.2
営 業 利 益	737	2,110	34.9
経 常 利 益	699	2,160	32.3
親会社株主に帰属する当期純利益	442	1,400	31.5

	第2四半期末確定	期末予想
1 株 当 た り 配 当 金	55円	55円 (年間合計110円)

- 経営コンサル事業は、引き続き事業承継及び事業成長コンサルの受注が順調、加えてM&Aコンサルも下期は順調な売上実現を見込んでおり、通期では前期比増収増益を見込む
- 不動産コンサル事業は、案件受注が順調で計画以上の業績を見込む
- 資本・株式・株主に関するコンサル事業は、バリュエーション業務等のコンサル案件の受注は順調、またM&A関連業務も相談件数は順調に積み上がってきており、少なくとも前年度並みの業績は確保できると見込む
- 投資・ファンド事業は、現時点では投資株式の売却損益計上の見込みなし
- F P 関連事業は、法人向け研修の拡販により前期比増収増益を見込む

(2-1) セグメント別の事業戦略①



投資・ファンド事業

<事業承継ファンドのキャピタルソリューションファンド>

- 壱号ファンドは残存投資株式の利益ベースでの売却実現を目指す
(2015年9月末投資残高7百万円)
- 貳号ファンド(総額10億円)は、慎重に投資案件を発掘・検討
- 投資事業において保有する投資株式(営業投資有価証券:優先株式833百万円)は、償還待ち

FP関連事業

- 法人マーケットで金融機関を中心にFP関連の研修ニーズの高まり
⇒Webを活用したFP関連講座及び研修の拡販、営業スキル研修等の研修メニュー
拡充によるオーダーメイド型の企業実務研修の拡販
- 相続手続に関するサポート業務(商品名「相続あんしんサポート」)の事業化
⇒引き続き提携金融機関との強固な連携関係の構築及び新規提携先の獲得に注力

(2-2) セグメント別の事業戦略②



経営コンサルティング事業

■ ビジネスモデルの変換

事業再生コンサル中心

⇒『事業再生コンサル』『事業成長コンサル』『事業承継・M&Aコンサル』

の三本柱へ

■ 事業再生、事業承継を切り口としたM&Aコンサルの本格事業化

⇒人員増強によりM&A周辺コンサル体制を強化

■ 事業継続、持続的成長支援コンサル体制を強化

⇒組織体制の見直しにより、様々なコンサルニーズの掘り起こしと提案を実行

⇒事業会社経験者であるシニア人材を積極的に採用

■ 海外コンサル体制を強化：中国、アジア展開を積極的に推進

⇒現在、シンガポール、中国（上海）、タイ（バンコク）、マレーシア（クアラルンプール）の4カ国で拠点展開、現地採用も開始

■ B to Cビジネスへの取り組み

事業承継・M&Aセミナーの実施

⇒新たな受注ルートの開拓

(2-3) セグメント別の事業戦略③



不動産コンサルティング事業

- 中長期的な事業成長のため、新卒採用等人材の採用・育成への先行投資を実行中
- 提携会計事務所数の増加(2015年9月末提携数309会計事務所)、及び提携会計事務所との連携強化に注力⇒営業基盤確立、収益機会の獲得へ
- 住宅の販売仲介業務及び賃貸管理業務の強化により、安定した利益確保を目指す

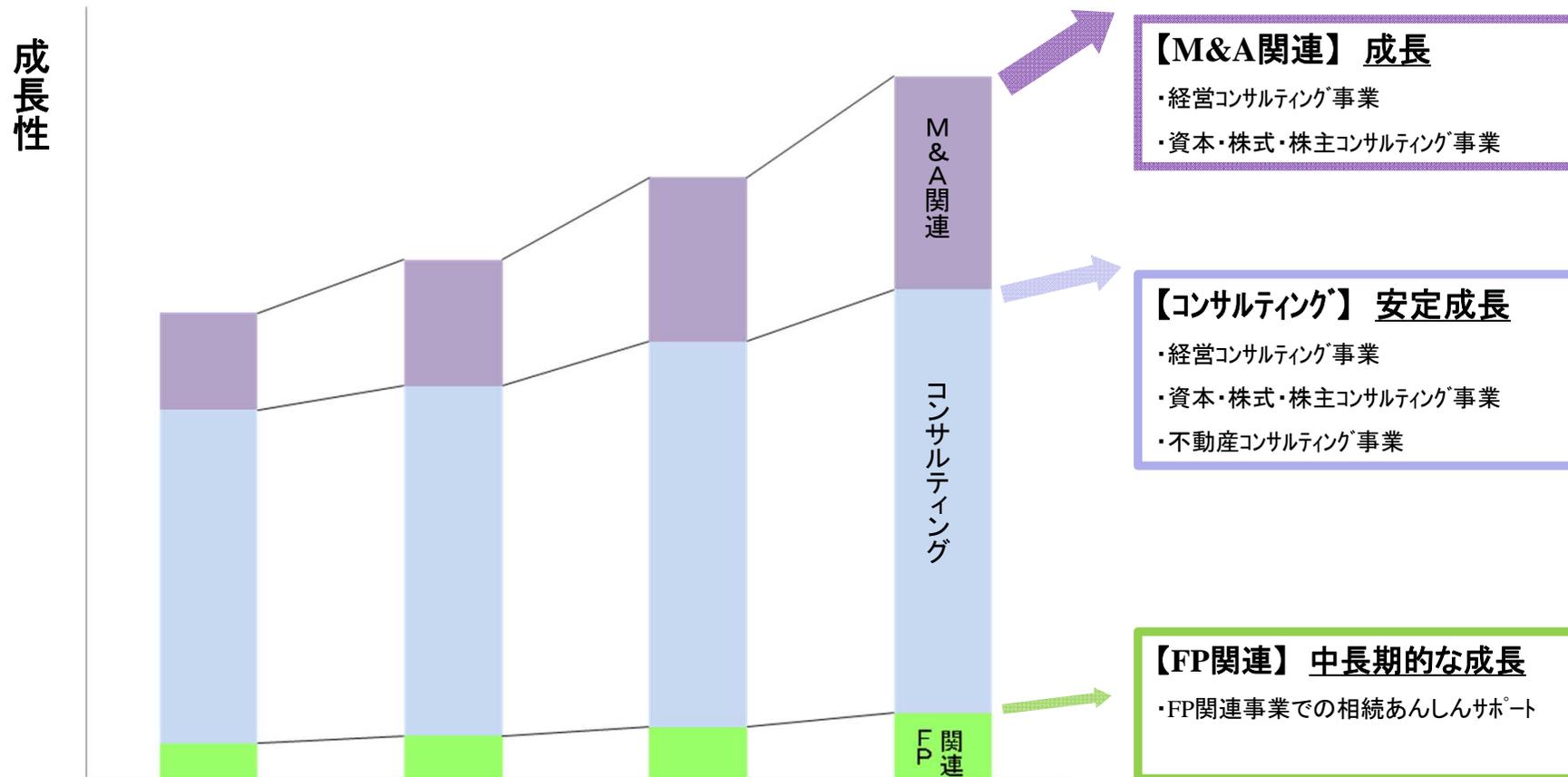
資本・株式・株主に関するコンサルティング事業

- 早期での事業規模拡大を図るため、積極的な人員増強を行う
- 営業拠点である証券会社との連携のもと、M&A関連業務の早期拡大を目指す
- 西日本エリア開拓: 京都事務所本格稼働、本年6月に広島事務所開設
- 事業再編に伴うワンストップ型のFA業務、財務デューデリジェンス業務、バリュエーション業務を引き続き推進
- 優良企業オーナーの資産管理・事業承継アドバイザリー業務もワンストップ型で推進

(3) 今後の事業成長イメージ



山田コンサルティンググループ株式会社





(4) リスク情報

経営コンサルティング事業

- 人材の確保及び育成
- 情報管理⇒機密情報が漏洩したときのリスク

不動産コンサルティング事業

- 不動産市況の動向
- 人材の確保及び育成

資本・株式・株主に関するコンサルティング事業

- 人材の確保及び育成
- 情報管理⇒機密情報が漏洩したときのリスク

投資・ファンド事業

- 投資先企業の業績状況、株式評価、売却タイミングによる業績変動リスク

FP関連事業

- FP関連事業の商品構成・・・FP資格取得講座販売への依存度が高い
- 経済動向



山田コンサルティンググループ株式会社

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知置き下さい。